

たん せつ まい せい

担 雪 埋 井

発行日:平成24年01月25日
発行元:望月総合経営 (代)税理士法人望月会計
住所:長野県松本市城西2-5-12
TEL:0263-32-4737 FAX:0263-36-7859
e-mail:soumu@mochizuki-kaikei.gr.jp
http://www.mochizuki-kaikei.gr.jp/



望月総合経営

代表 望月 宗敬

『日本の農業を考えましょう』

～ 6次産業への挑戦～

「米価の下落、過剰米対策を」・「戸別所得補償～稲作からの転作奨励」・「就業者が5年で22%減少」・「農商工連携で活路を開け」・「続く企業の進出、野菜工場建設」・「食の安全、食育教室」・「食糧自給率目標50%へ修正」・「増え続ける耕作放棄地」・・・etc 最近の新聞の見出しです。何が課題となっているのでしょうか。

第一に食料の6割を輸入に頼る「食糧安全保障の危機」です。
日本の食糧自給率は40%、ちなみに米国 - 128%、仏 - 122%、独 - 91%、少ない英国でも70%です。

第二に農業の担い手がどんどん減少し、しかもその7割が65歳以上。高齢化が進み、後を継ぐ者がいない。耕作されない荒れた農地が増え続けています。

規模拡大を図る家族経営、新規参入の企業、地域の生産組織による農作業の共同化とその法人化。この3本を柱とする経営体の育成と強化が待たなしです。多様な営農形態と欧米並みの産業育成政策の拡充が求められます。

そんな中で今、国論を二分して提起されたTPP問題は、日本の農業のありようを間違いなく大きく変えることになるでしょう。

私たちは、このような農業を取り巻く環境変化にいかに対応していくべきか。何もせず様子見？それでは何の進歩もありません。真剣に日本の農業について考えるべきだと思います。農業を事業化し、若者が生活の設計ができ、家族を養える産業としての農業への道筋をつけることが喫緊の課題だと思います。

そこで、当法人では、本年より農業について研究する「農業事業部門」を立ち上げました。日本の農業には、幾多の課題が山積しており、一筋縄ではいかないことは承知しています。農業問題への取り組みは相当な苦労が予測されます。しかし、誰かが乗り出さねばならない分野だと決意し実施することとしました。

「安曇野で農業をしたい」と夢を抱いてIターンした河上税理士がこの部門のチーフです。現在、信州大学農学部大学院に通い、農業についての知識を修得中です。今年3月には晴れて卒業の見込みです。農業部門の担当としては、大久保、小栗の若手2名も農業アドバイザーとして活動を開始します。また、農工商連携事業(6次産業)は中小企業診断士の矢島が担当します。

今後、「農業の事業化」あるいは「6次産業」に関心のある方と連携をとりながら進めていきたいと考えています。何卒、絶大なるご協力をお願いします。



望月総合経営 各企業の年頭所感



税理士法人 望月会計

所長 百瀬 幸子

昨年を振り返れば、世界中が動乱の時代であったように感じます。リーマンショック以来、ギリシャに端を発したEUの経済危機、タイの洪水、急激な円高、やはり、100年に一度の危機と言われたとおりになっているように思います。

日本では昨年東日本大震災、原発事故が発生し、政治、経済両面で様々な課題に直面しています。しかし困難な中でも被災地の方々の自分より周りを気遣う、日本人が昔から持つ情、秩序ある国民性を世界中に示しました。被災した我々日本人の強さ、底力を改めて確認することができました。今後の事故処理については、放射能物質の処理などこれから30年以上かかるとのこと。今後の課題は重く大きい。

未来の経済には、明るい兆しは見えません。前年よりもよくなることは期待できません。中小企業の皆様、智慧、創意工夫、経営努力、強い気持ちを持って、創業期を思い出し、新しい年をスタートしましょう。



社会保険労務士法人 MAC

次長 丸山 英幸

昨年の東日本大震災や福島原発事故は被災地に未曾有の大災害をもたらし、平穏な生活を一瞬にして終わらせてしまう巨大地震や津波の恐ろしさを改めて感じさせられました。また、災害に伴う景気や雇用情勢の悪化など、私たちを取りまく環境は一層不安につつまれた一年でもありました。被災地の一日でも早い復興を願わずにはいられません。

さて、本年MACでは近年急増している労使間トラブル対策として就業規則の作成や見直しのご提案に力を入れていきたいと思っております。労務リスクの軽減は企業にとってはとても重要です。トラブルが起きる前にお気軽にご相談いただければと思います。本年もより充実したサービスを提供できるよう努めてまいります。

この一年が皆様にとりましてよい年となりますようご祈念申し上げます。



行政書士法人 MAC

所長 笠原 史樹

明けましておめでとうございます。

行政書士法人MAC一同、新たな気持ちで新年を迎えました。

昨年は、数年来引き続いている深刻な不況に加え、東日本大震災という未曾有の大災害もあり、決して明るい一年ではありませんでした。本年の動向、予想等を見聞きしても、引き続き厳しい一年になるであろうという意見が大勢を占めています。そんな中、当社は敢えて「明るく」「元気に」をスローガンにやってゆきたいと考えています。ネガティブになっていても何も変わりません。空元気でも、やせ我慢でも構わない、とにかく胸を張って前を向いて、日々の業務に邁進してゆきます。そんな我々の姿が、ほんの少しでも皆様に元気を与えられたら、これは望外の喜びです。

更にもう一つ、今年は「軽いフットワーク」も意識してゆきたいと考えています。我々行政書士の業務は、他の士業に比べ守備範囲が広いことが特徴です。この特徴を活かし、あらゆる場面で顔を出し、皆様のお役に立つことのできる「望月総合経営の気軽な相談窓口」を目指し、足取り軽く駆け回ってゆく所存です。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



株式会社 船井財産
コンサルタント長野

代表取締役 滝澤 弘一郎

本年は穏やかな年であって欲しいと心より願います。思い返せば、昨年は未曾有の出来事が次々と起こり、世界が激動・激変した年でありました。「原発の安全神話」は想定外の災害により一瞬にして崩壊してしまいました。デフレ、国債の膨張、超円高etcの状況下、日本国家の安全神話もあと何年もつのだろうか、「国家破綻の危機」は目前に迫っているのではないだろうかと感じます。

社会保障と税の一体改革で増税論が本格化しており、税率アップも腹をくくる必要があります。何と云っても経済活性化による税収増をねらうのが本筋ではないでしょうか。デフレ脱却には、震災復興需要は重要なポイントです。この機会に適度なインフレ目標を設定し、経済活性化をはかるのが再生への道だと思います。この14年にも及ぶ景気の低迷に苦しんでいる状況で、不動産に対する金融引き締め策がとり続けられることは、大きな疑問であります。資本主義経済では土地本位制の基本は変わりませんので、金融緩和により不動産取引を活性化させることで、地価下落を止め、価格上昇へと転換できれば景気の回復が期待できます。3%位のインフレ 名目GDP増加 地価・株価上昇 税収増・・・の流れです。厳しい環境下ですが、楽観論者でいきたいと思えます。



株式会社
ビジネスブレーション

代表取締役 原田 紀美子

「絆」この言葉を、昨年はどれ程深く考え聞いたことでしょうか。本当に天災の多い年でした。物づくりの国、日本、すぐれた技術と人材の豊かさは、世界が一目をおくところですが、しかし経済や産業が未曾有の変化により日本の物づくりは危機にさらされています。急激な円高やアジア諸国の発展で海外に拠点を移す動きが加速しそうです。復興しようと頑張る東北に、この製造産業を支援できないものでしょうか。頑張れ日本！頑張れ東北！人を活かす社会を日本全体が、考える時だと思えます。昨年の明るいニュースは、タイガーマスクの伊達直人を名乗る人物が全国の施設にランドセルをおくる善意でした。今年もその善意が続き、東北の復興も継続して支援しましょう。「大切なことは遠くにある人や大きなことではなく、目の前にある人に対して愛を持って接することです」(マザ - テレサ)

一歩、一歩前進し改善される日本を期待します。本年もよろしくお願い致します。



株式会社
MKコンサルティング

代表取締役 黒沢 正行

経済財政白書も認めているように、日本経済は2009年よりデフレ状況にあります。物価が低迷すると同時に赤字企業が増え、平均賃金も減少しています。人口は2005年より減少傾向にあり、中期的に見ると経済成長も期待できない状況です。

景気が停滞する中で、中小企業が成長するための方策は二つしかありません。一つ目は競争に打ち勝ち同業者のパイを奪っていく方法、二つ目は新たな商品・サービス・技術で新たな市場・取引先を開拓していく方法です。いずれにしても従来とは違ったやり方を取り入れ、全社が丸になって実行していかないと、事業を継続することすら難しい経済状況です。成長を目指す中で新しい知識や新しい仕組みを経営に取り入れたいとき、また経営判断に迷うときには、専門家の手助けがあった方がスムーズに行くことが多いものです。

我が社が定期的に支援させていただいているクライアント企業はすべて、前期は黒字決算でした。過去に賃金制度改定や経営革新の支援で、一定期間以上お手伝いした企業の多くが好調な業績を保っています。厳しい経済環境の中でも、20年30年と継続できる会社作りの支援を、今年も続けていきたいと思っています。



望月総合経営 2012年の抱負



コメントは写真下段右より掲載しております。

体力知力をつけ一年健康に過ごしたいと思います。
(岡村 芳彦)

一日一日を大切に健康に気を付けてがんばります！
(丸山 英幸)

「意志力」「集中力」「持続力」
今年は3つの力を磨きます。
(笠原 史樹)

ユロがあつという間なので時間を大切に日辰月歩できる一年にしたいです」(郷野 亜紀子)

一歩踏み出す勇気を持って新しいことにチャレンジする年にしたいです。(安西 佐奈恵)

心配り気配りの精神を持って業務に取り組みたいと思います。
(古厩 徳子)



株式会社 船井財産コンサルタンツ長野



ただいま、玄米食実施中！安心して日本の玄米が食べられる様になりますように。食も基本、仕事も基本。(上條 真弓)

入社時密に立てた計画(毛虫論 仕事の面)の後半戦が元旦から始まりました。乞ご期待。
(玉木 伸人)

脱原発！安心安全な日本を取り戻そう。放射線量の数値に恐れながらの生活はごめんだ。
(滝澤 弘一郎)

蛟龍雲雨を得ば、ついに池中の物に非ざらん」常にアンテナを張り、時期を逃さない。
(伊藤 尚之)

NS Nicely Staff 株式会社ビジネスブレーション



モノの見方をちよいと変え、ポジティブチームを発していきたい。(大石 貴和)

起業と人材の多種多様なニーズに応じられる総合人材サービスの提供。(原田 紀美子)

引っ込み思案な私。今年は修行を積んで一芸に秀でたタツジンになりたいです。
(中野 尚子)

仕事をさせていただける事に感謝をしながら、日々邁進したい。(松岡 由美)

その場に応じた対応ができるよう心がけて行きたいと思います。(清沢 広美)

本年は年男として、初心を忘れずに何事も「際タツ」仕事を心がけます！(原田 祐輝)

監査部第1課



「粒粒辛苦」努力を怠らさず焦らず頑張っていきたいと思ひます！(筒川 誉志幸)

より高い次元のサービスが出来るように頑張ります。(大久保 荘司)

「時かぬ種は生えぬ」勇気を持ってチャレンジしていきたいと思ひます。(大槻 美絵)

「自利利他」親身な相談相手になれるよう、原点に立ち返り行動したいと思ひます。(永田 秀樹)

監査部第2課



自分らしさを忘れずに、より輝ける1年にしたいと思ひます！(小林 美紗子)

一日一日を大切に精一杯がんばります！(倉科 友歌)

脳トレで脳を鍛え、健康に注意して1年無事に過ごしたいと思ひます。(柳澤 寛美)

強い決意が行動を生み、努力の積み重ねによって成功があると心して過ごします。(横木 貞則)

今年は健康第一をモットーに身体的にも精神的にも元氣な一年にしたいと思ひます。(深澤 博志)

監査部第3課



今年には知識と知恵と経験を身につけられるよう勉強に励みます。(池上 武邦)

明日やろうは、バカやろう。」やるべき事を先延ばししないように。(小澤 久美子)

今年、より信頼される会計事務所職員を目指し、頑張ります。(小栗 功)

監査部第4課



時間を大切にして充実した1年にしたいと思ひます。(西村 弥生)

使ったものは、もとの場所へきちんと戻します。(矢島 龍)

何事にも前向きに取り組み、飛躍した一年になるように頑張ります。(増田 隆)

総務・システム課



大きく成長出来る様充実した毎日をおくりたいと思ひます。(青木 尚美)

誠心誠意 皆様のお役に立てるよう努めたいと思ひます。(五十川 貴巴子)

「タツとり後を濁さず」で残り3ヶ月頑張ります。(杉本 由美子)

審理課・資産税課



「農」の再生へ。改めて今年一度志をたてよう。(河上 賢)

去年は私にとっては大殺界、思い起こせば色々。今年、運気が上昇しますように。(石塚 忠)

龍の如く、駆け昇りたい。高みの空へ。(百瀬 幸子)

公私に無理せず健康第一に。若い方へ。努力は必ず自分に何かを残します。(有賀 甫夫)

龍 新入職員ご挨拶 龍

1月から税理士法人望月会計でお世話になることになりました上條洋輔と申します。昨年末まで名古屋市内の会計事務所に勤務しておりました。生まれ育った地域でこれから生活できることを大変うれしく思います。関与先様及び地域の発展に貢献できるよう、明るく笑顔で元氣よく仕事に勉強に取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

監査部 4 課
上條 洋輔
(かみじょう ようすけ)



はじめまして。1月5日に入所いたしました山口幸恵と申します。税理士事務所に勤務するのは初めてで分からない事ばかりですが、一日も早く仕事を覚えて皆様のお役に立てるよう頑張ります。好きな言葉は、「感謝と笑顔」です。よろしくお願ひします。

総務課
山口 幸恵
(やまぐち ゆきえ)



今年3月に短大を卒業し、この度入所させていただくことになりました市川恵美と申します。学生から社会人になるので、これからは望月会計の一員として自覚と責任をもって行動していきたいと思ひます。わからないことが沢山ありますが、先輩方に仕事を教わり、お役に立てるよう一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひ致します。

システム課
市川 恵美
(いちかわ めぐみ)



私こと上條なつきはこのたび税理士法人望月会計を退職することになりました。在職中はひとかたならずお世話になり、本当にありがとうございました。

松本に帰郷してから、弊所で働き、自転車通勤をしておりましたが、山に囲まれた松本がより一層好きになった3年半を過ごす事ができました。陰ながら、皆様のご発展を心より、お祈りいたしております。

退職者からの
ご挨拶



システム課
上條 なつき

医療コラム No.17

来る4月に、診療報酬の改定が行われます。今回は、6年ごとに訪れる介護報酬との同時改定にあたります。本稿執筆の時点で、改定内容の詳細はいまだ明らかにはなっていませんが、厚労省での検討過程をみると、いくつかの大きな方向性が浮き上がってきます。特に、地域医療における分野においては、重点課題の一つとして「医療と介護の役割分担の明確化と地域における連携体制の強化の推進及び地域生活を支える在宅医療等の充実」という方針が示されています。これは、以前から指摘されていることとはいえ、「入院から在宅へ」「医療から介護へ」の流れを加速させる動きであると思われまひます。最新情報に注目しながら、今後の医療・介護の経営のあるべき姿を経営者の方とともに考えていきたいと思ひます。

認定登録 医業経営コンサルタント
税理士法人望月会計 矢島 龍



働きつれれ日記

相続税については平成23年度の改正で、基礎控除が3000万円に、相続人一人あたり600万円に引き下げられるというものでしたが、相続税の見直しについては、今後改めて検討ということになり、ほっと胸をなでおろしたところ、「社会保障・税の一体改革案」の中には相続税の改正が謳われることになりました。この改正案が通れば上記の改正案は遅くとも平成27年からの相続に適用となります。

そうなると相続税の課税となる対象者が増え、申告者は倍増するのではないかと思ひます。相続税対策の必要性が一層強まることになるのではないのでしょうか。

税理士法人望月会計 所長 百瀬 幸子

編集後記

2012年の幕が開けて早1月、歳のせいか年々月日の流れが早くなっていくように感じます(^.^) 今年は竜年、株の世界では「辰巳天井」の年です。昨年は卯年でもピョピョ跳ね上がらなかった景気が今年は回復し、上昇気流に乗りたひものです。(杉本)

【担雪埋井編集委員会:安西・河上・杉本・郷野】